

2026年2月5日
株式会社 GRIFFY
東洋熱工業株式会社

NEWS RELEASE

GRIFFY・東洋熱工業 スリーブ検査をiPadPro1台で 圧倒的に効率化するアプリケーション「SLEEVEY」を開発

～次世代デジタル検査ワークフローの構築を目指す～

株式会社 GRIFFY（本社：東京都千代田区、代表取締役：入澤 拓也、以下「GRIFFY」）および東洋熱工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：谷口 昌伸、以下「東洋熱工業」）は、建築工事において設備配管の貫通孔を確保するために埋め込む筒状の管（スリーブ）の検査業務において、省力化と精度向上を実現するアプリケーション「SLEEVEY（スリービー）」を共同開発いたしました。なお、本アプリケーションに関する技術は現在、特許出願中（出願番号：特願 2026-004614）です。

「SLEEVEY」は、iPad Pro 1 台のみで検査業務を完結させ、生産性を圧倒的に向上させることを目指しております。現在、東洋熱工業が施工する現場での実証実験を進めており、2026 年内の提供開始を予定しております。

また今後は、現場データの利便性と一貫性を追求するため、施工管理サービスとして業界大手である「SPIDER+」との連携なども検討しております。

この取り組みを通じて、図面管理から検査記録までをシームレスに接続するデジタル検査ワークフローの構築を目指します。現場管理者の業務負担を大幅に軽減するとともに、次世代のデジタル検査カルチャーの醸成に向け、強固な協力体制を構築してまいります。



■ 開発の背景

設備施工のプロセスにおける「スリーブ検査」は、品質維持のために避けて通れない必須の確認工程です。しかし、その実態は非常に高い業務負荷を伴うものであり、業界全体で外部委託が進んでいないことも重なって、施工管理者が本来注力すべき監理業務を圧迫する要因となってきました。

特にスリーブ検査は、構造躯体のコンクリート打設前に行う「墨出し検査」と、打設直前の限られた時間内に実施する「取り付け確認」の2段階で構成されます。全スリーブを対象とした全数検査であることに加え、広大な現場内での階層移動や、狭所・高所での反復作業を強いるため、身体的な負担と時間的ロスが大きな課題です。また検査漏れによる手戻りが発生した場合には、多額のリカバリーコストや工期の遅延に直結することから、現場担当者は極めて強い時間的プレッシャーの中で作業を行っているのが現状です。

■ 「SLEEVEY」概要：ARとクラウドで検査業務をワンストップで完結

「SLEEVEY」は、AR技術とクラウドシステムを活用し、検査精度と効率を飛躍的に向上させます。

AR活用による検査の精度向上

BIMソフトからインポートしたスリーブデータを、実際の映像にARで重畳表示しながら、施工位置や取付状況を確認できます。これにより、現行の検尺ロッドを用いた計測や紙の図面確認、チェックシート記入といった一連の身体動作をタブレット操作に集約し、検査時間を短縮します。現地に書き出されたスリーブの墨（施工位置）が設計値とズレていないかをAR重畳表示によりチェックすることが可能です。

クラウドによる効率的な確認・承認フロー

アプリケーションとクラウドから構成されるシステムにより、「検査 > 写真データ管理 > 確認・承認」のプロセスがワンストップで完結します。これにより、紙のチェックシートをプリンターで印刷し、定例報告会などで押印承認を依頼していた従来の承認フローにかかる時間的なコストが圧縮されます。

■ 期待される効果：監理業務への集中とコスト適正化

「SLEEVEY」の導入により、以下の効果が期待されます。

作業負荷の分散

検査行為を現地の職人へアウトソーシングする仕組みを提供することで、施工管理者の作業負荷が分散されます。

監理業務への注力

検査にかけていた労務を、施工管理者が本来行うべき付加価値の高い監理業務に向けることが可能になります。

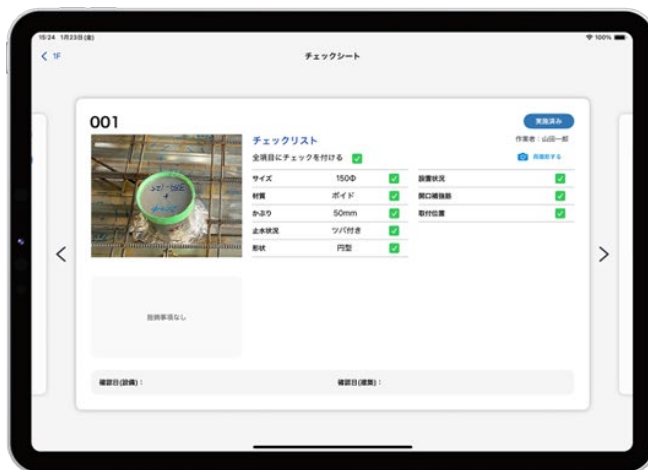
精度とコストの両立

AR活用により検査精度の向上を実現するとともに、検査作業のアウトソーシングを通じて労務単価の適正化を図り、トータルコストを低減します。

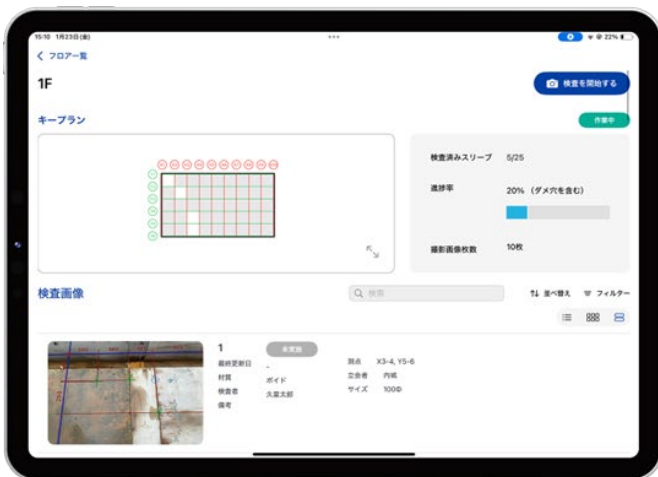
<iPad 向け APP／クラウド管理画面>



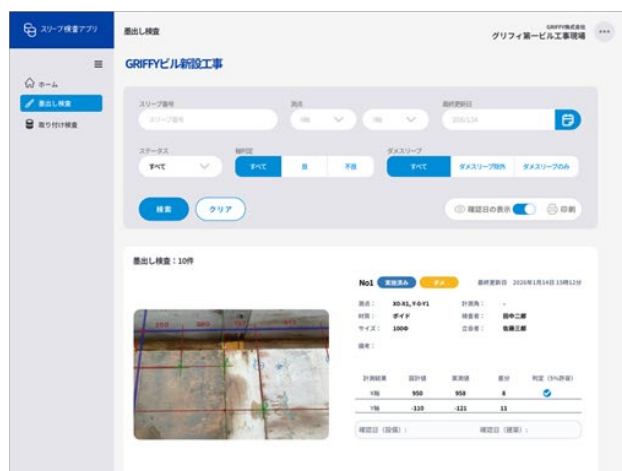
墨出し検査時の画面
(設計情報から仮想スリーブを表示)



取付け検査時の画面
(取付状況を撮影しチェックリストを確認)



検査の進捗状況や検査結果を一目で把握可能



クラウドによる検査データの管理

■株式会社 GRIFY について

GRIFY は「建設産業の未来図を、デジタルテクノロジーで描き出す。」をミッションとして掲げ、建設ドメインに特化した DX プロダクト・ソリューションの共創事業に加え、多数の建設 DX ソリューションを「現場ロイド」ブランドとしてラインナップしたレンタルサービス事業を運営しています。

「現場ロイド」は累計 20,000 件を超える導入実績（2025 年 6 月末現在）を有しており、現場への実装で積み重ねたノウハウとデジタルネイティブな発想の組み合わせによって、生産性向上、省人化、安全対策といった建設産業全体の共通課題と向き合うことを通じて、建設産業に携わるすべての人が幸せに働ける環境づくりに貢献してまいります。

所在地：〒101-0047 東京都千代田区内神田 2 丁目 12 番 6 号 内神田 OS ビル 7 階

代表：代表取締役 入澤 拓也

設立：2023 年 12 月

資本金：6,000 万円

事業内容：建設現場向けの DX ソリューション提供事業

URL：<https://griffy.co.jp/>

■ 東洋熱工業株式会社について

東洋熱工業は、1937 年の創業以来、空調設備を中心に設計・施工・アフターメンテナンスに携わり、長年培った技術と経験をもとに、高品質な空調設備を提供しています。「環境に、社会に、文化に、責任ある企業として調和のとれた発展を目指す。」という経営理念に基づき、「技術力」で人々の快適な暮らしや企業の生産活動に必要な最適環境を創造し、社会の課題に応えてきました。これからも、更に一步進んだ新技術の開発に挑戦すると共に、「技術の東熱」として、持続的成長と企業価値の向上を実現します。

所在地：〒104-8324 東京都中央区京橋二丁目 5 番地 12 号

代表：代表取締役 谷口 昌伸

設立：1937 年 8 月

資本金：10 億 1,000 万円

事業内容：空気調和設備、換気設備、排煙設備、給排水衛生設備、消防設備等の設計・施工・販売・保守

URL：<https://www.tonets.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社GRIFFY 企画部 國塚

TEL：03-5289-4060 MAIL：cst-press@griffy.co.jp

東洋熱工業株式会社 技術統轄本部 三橋

TEL：03-5250-4100 MAIL：tmihashi@tonets.co.jp